

胃カメラ検査を受けられる方へ

内視鏡検査(胃カメラ検査)は、内視鏡と呼ばれる細いカメラで食道・胃・十二指腸の中を観察し、病気(ポリープ・胃潰瘍・腫瘍など)の有無を調べる検査です。また、病気を診断し治療方針を決定するために行う検査です。

下記の方は検査を受けられません

▼検査当日の朝、食事を摂った方



下記の方は相談ください

▼妊娠している方・またはその可能性がある方

以下の内容を読み、ご理解いただいた上で検査をお受けください。

前日	飲食	<ul style="list-style-type: none"> 検査前日の夜9時以降から検査終了まで食事はしないでください。 水は飲んでも差し支えありませんが、アルコールは避けてください。 	
当日	飲食	<ul style="list-style-type: none"> 朝7時頃までは水200ml以内なら飲んでも差し支えありません。 お茶、コーヒー、アメ、ガム、たばこなどの嗜好品も控えてください。 	
	内薬	<ul style="list-style-type: none"> 高血圧、心臓病の方は薬を朝7時までに約100ccの水で服用してください。 糖尿病の方は、インスリン注射や血糖降下剤は服用しないでください。 (！低血糖の危険性があります！) 	
	その他	<ul style="list-style-type: none"> カメラを口から入れるか鼻から入れるか決めていただきます。 	
<p>◆検査は10:00頃から行います。 ※当日の状況により、時間通りに検査開始、終了できるとは限らないことをあらかじめご了承ください。</p>			
検査前	<ul style="list-style-type: none"> カメラを入れる5分前に麻酔をします。口・鼻によって方法は異なりますが、全身麻酔のように眠ることはありません。 		
	<ul style="list-style-type: none"> ベルトをしている方は緩めます。入れ歯のある方ははずしていただきます。 		
検査中	<ul style="list-style-type: none"> カメラを入れる時は体の力を抜いて、お腹で息をしてください。ゲップを我慢していただく必要がありますが、医師・看護師の指示に従ってください。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 気分が悪いなどありましたら、我慢せずにお申し出ください。 検査中に胃の粘膜の一部を採取し、病理検査へ提出する場合があります。 		
検査後	<ul style="list-style-type: none"> 空気を入れるためお腹が張った感じがすることがあります。ゲップ・ガスとして出してください。 		
	<ul style="list-style-type: none"> 検査終了後、喉のしびれ感があるうちは食べ物を取らないようにしてください。食べ物が気管内に入ることがあり危険です。検査終了後約1時間ぐらいて、水を一口飲んでみてむせることがなければ食事をとってもよろしいです。 		
検査翌日	<ul style="list-style-type: none"> 検査が原因で咽頭痛(のどの痛み)や腹痛などが出現する場合がありますが、通常数日以内に消失します。万一、腹痛が続いたり吐血や黒色便がありましたらご連絡ください。 		

【合併症について】

検査による重篤な合併症として、出血や穿孔などが発生することがあります。この頻度は日本全国で検査を受けた方の約0.007%と報告されています。

このような重篤な合併症が発生した場合は、再検査、輸血や手術を考慮した治療を適切かつ迅速に行います。

以上、ご理解を頂き、胃カメラ検査を受けることに同意されましたら、同意書にご署名の上、検査当日忘れずにお持ちください。

* 検査をキャンセルする場合は、必ず連絡をお願いします。

六ヶ所村地域家庭医療センター 健診室 0175-73-7120 (直通) 0175-73-7122 (代表)